



価値ある情報資産を企業戦略に活かす

DataStageがさらにパワーアップ

より速く、より確実なDWH(Data Ware House: データウェアハウス)の構築を実現し、スピーディな経営戦略の意思決定を支えるのが、データ統合の基盤製品「DataStage」です。DataStageはETL(Extraction, Transformation & Loading)ツール分野で高い実績を持つ製品であり、日立の豊富な経験に基づくソリューションと合わせ、DWHの構築を強力に支援します。また、散在するデータベースを統合したり、システム間のデータの整合性をとるデータ統合のEAI(Enterprise Application Integration)ツールとしても幅広くお使いいただけます。今回、このDataStageが高速・大容量のディスクアレイサブシステムSANRISEに対応。また、データ品質管理製品Quality Managerとセットで提供するDataStage Plusも新登場しました。ERPの基幹系データ利用を推進するDataStage Extract Pack for SAP R/3やAIX版DataStageとも合わせ、DataStageはeビジネス時代の幅広いデータ活用を支えます。

DWHの開発・維持コストを大幅に削減

DataStageは、DWHやデータマートの構築・運用の生産性向上と、スピーディな構築を実現するETLツールです。ETLツールとは、複数のデータベースから必要なデータを抜き出し、システムごとに異なるデータ形式を変換・集約してDWHに移行するためのミドルウェア。そのなかでもDataStageは、全世界で1,800社以上の導入実績を誇る製品です。

DataStageは、GUIによるプログラムレスでのビジュアル開発をはじめ、ジョブ設計やコード変換、データの抽出・更新といった処理の効率化を図るための豊富な機能を提供します。「プログラム開発に時間がかかる」「開発言語・データベースの専任要員がない」「要件変更によるプログラ

ム修正で大きなコストがかかる」といった悩みを一挙に解決し、スピーディなDWH構築と、開発・維持コストの大幅な削減を実現します。

さらにETLツールとしてだけでなく、企業内に散在するデータベースを統合した新システムの構築や、システム間のデータを変換・統合して整合性をとるなどのEAIツールとしても注目されています。

そして今回、より大規模なDWHの構築を支援するDataStage SANRISEプラグインをはじめ、多彩な新製品をラインアップ。幅広いデータを活用した、戦略的なDWHとEAI環境の構築を支援します。

DataStageの主な特長

GUIによるビジュアルな開発

DataStageでは、データのマッピング設定やマッチング処理、集約、抽出、書き出しなどの処理ごとに用意されたアイコンをドラッグ&ドロップすることで、ジョブの開発が行えます。画面上的アイコン同士をリンクすることでデータフローを作成。各アイコンの

プロパティ設定で処理内容を定義できます。そのため、データの流れがビジュアルに理解でき、開発言語・データベースのプロフェッショナルでなくても容易に変換ジョブを開発することが可能です。

幅広いデータベースをサポート

DataStageは、HiRDB、Cosmicube、Oracle、DB2、Microsoft SQL Server、RedBrick、Informix、Sybase、Teradataなど多種多様なデータベースへのアクセスをサポート。VOS3 XDM/RD、XDM/RD E2、OS/390 DB2など、メインフレーム環境もサポートします。さらにSAP R/3やXMLデータファイルもサポートし、基幹システムのデータからeビジネスのデータまでDWHで活用できます。

安心して使える日立の充実サポート

日立は、DataStageの販売だけでなく、DataStageの日本語化、品質確保など製品開発にもソースコードのレベルで協力。これらを通じて培った技術力で、インストールから技術支援まで、お客さまのDWH構築を強力に支える、充実したサポートサービスとテクニカルサービスを提供します。

大量データの高速度転送を実現するDataStage SANRISEプラグイン

大規模DWHの構築でネックとなっていたデータ転送の処理時間を短縮するため、DataStage SANRISEプラグインを新開発。ディスクアレイサブシステムSANRISE

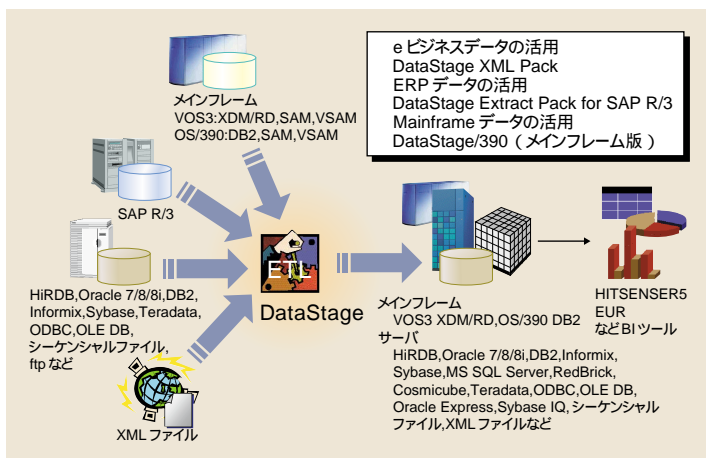


図1 DataStage全体概念

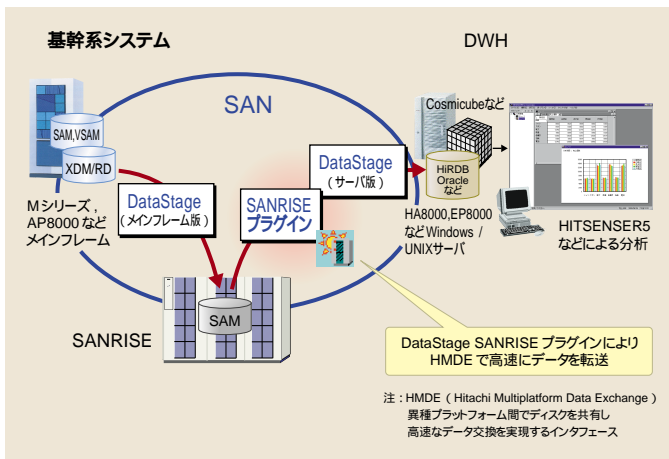


図2 DataStage SANRISEの連携

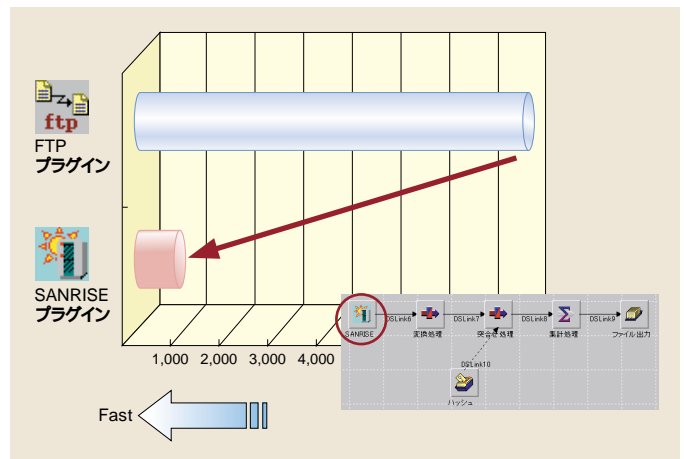


図3 DataStage SANRISEの連携(高速化)

を活用し、メインフレームなどからSAN (Storage Area Network) 経由での高速なデータ転送を実現します。

また従来は、SANRISEからデータ転送する場合でも、メインフレームで作成したデータを、まずUNIXやWindows のファイルに変換し、その結果を読み出すステップが必要でした。しかしDataStage SANRISE プラグインを導入すれば、メインフレーム側のデータセットをそのまま読み出すことが可能となり、運用管理が一段と容易に行えます。

時間的な制約から、従来は扱えなかった膨大なデータを意思決定に活用することで、企業戦略の立案を、より詳細かつ確実なものへと進化させます。

Quality Managerとセットになった DataStage Plus

構築したDWHのデータが信頼できないと、どんな分析をしても正しい意思決定には結びつきません。また、DWHを構築する前に、どんな元データがあるかを正しく把握することも必要です。そこでこのたび、正確な分析を支える高品質なデータを確保する「データ品質管理製品Quality Manager」をリリース。データの例外値チェックや値の参照整合性チェックといった定義をGUI操

作で簡単に行えるほか、チェック項目に重みをつけて重要度を反映し、データ品質を定量的に測定、ビジュアルに表示できる同製品と、DataStageとセット化したDataStage Plusを提供します。DataStage Plusを導入することで、データを、ビジネスを成功に導く信頼性の高い情報資産に変換し、急激に変化する市場に向けた企業戦略の立案を強力にサポートします。

ERPのデータをオープンなDWHで活用できる DataStage Extract Pack for SAP R/3

DataStageのビジュアル開発環境からSAP R/3システムにアクセスし、データ抽出部分を開発できるのが「DataStage Extract Pack for SAP R/3」です。SAP R/3のデータベースを参照しながら、必要なデータを選択して抽出でき、データ抽出条件、テーブル間のジョイント処理などもGUIベースで設定可能。抽出したデータの変換、集約、DWHへのロード処理などはDataStage

の豊富な機能をそのまま利用できるため、SAP R/3システムとDWHのシステムをシームレスに連携。ERPの基幹データを利用した戦略的なデータ活用が行えます。

AIX版DataStageも新登場

EP8000シリーズ(AIX 5L)で動作するDataStageを新たにリリース。従来から対応しているWindows NT 4.0/2000、HP-UX 11/11i、Solaris 2.6/7/8と合わせ、幅広いプラットフォームをサポートしました。

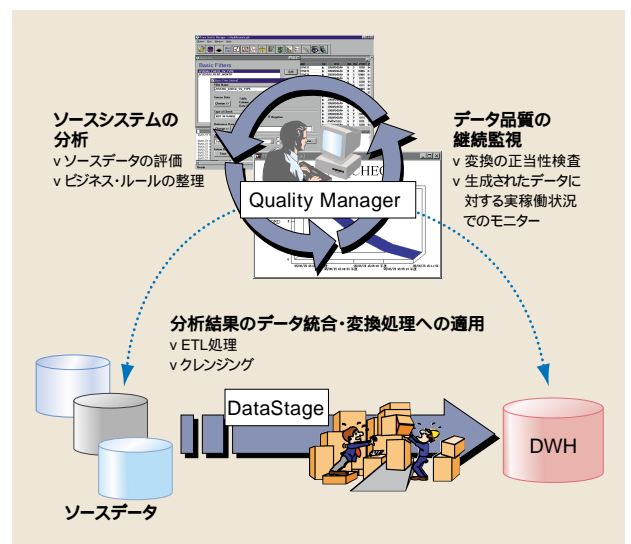


図4 DataStage Plus

お問い合わせ先

日立オープンミドルウェアお問い合わせセンター

0120-55-0504 利用時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00(土、日、祝日を除く)

情報提供サービス

<http://www.hitachi.co.jp/soft/datastage/>